

磐城中正新報

發行日 毎月一日、十五日
 定額 一部金拾銭
 郵税共 普通郵便十二字詰一行
 一回八十錢増場所指定
 印刷 安澤榮作
 編輯 安澤榮作
 發行所 福島縣平野町新報社
 磐城中正新報社

目醒めよ

有権者も候補者も

候補者は主義抱負を公表

して大衆の批判に懇ひ

有権者は縁故や

情實を排し最も公明正大に

尊き一票の行使を望む

新緑豊かなるこの五、六の補者も各我ららじと旗旗を
 兩月より各地共町村會議員推立て奮闘せらるること
 の改選が行はれる。新芽のあらふ或は床次御大の血
 筋ゆるが如く普通選初頭の新潮を汲んで洞ヶ峠に陣立す
 顔連も續出する模様で誠に族もあるであらふが兎に
 今の氣候に應はしい心地が角當年は新進氣鋭の少壯者
 する。當町會議員の改選も多數名乗を揚ぐるとのこ
 五月末のことであるが昔となれば、世界の大事に順
 選の最初であるだけ選挙人應し新機軸を樹立せねばな
 らぬ被選挙人も一段と緊張味らぬ現時代に於て誠心喜ぶ
 を以て臨まねばならぬ。第べきことである。希くは少
 一政黨政治の本領は必ず二壯議員は既製議員の過半数
 大政黨であらねばならぬ、に至らんことを望むもので
 我國も既に二大政黨としてある。然に新顔候補者間に
 の政治の基礎は確保せられは首鼠兩端逡巡して確固た
 つゝあるのである。故に地に信念なく人に抱擁せられ
 方の町村會議員の分野に於て後漸く決意するが如きも
 ても甲乙二黨の活躍に俟たぬなきにあらざるやに聞く
 ねばならぬ等である是がた如斯に寧ろ最初より立候補
 め中央地方を論せず兩派のせざるに如かず萬一さ人
 競争激甚なるは天理の正にありとせば例會議場に臨ん
 然るべき所以であらふ。當でも町政に參與し舊套を改
 剛に於ても政民兩派の立候補善し之を處理するの技能も

なく徒に杜撰の言論を弄す 當選するに極つて居るので
 るに終らぬのみ。若しかくある。又選挙せんとする人
 の如き人物を選挙したとせば公明正大以上の如き抱負
 は益々町政を危殆に陥らしを有する大人物を選定すべ
 る基に於て却て舊套議員きである若し黨派にのみ固
 むるに如かず。かゝるが執り或は利慾に走り或は入
 故に少壯の士にして立候補情に敵はれ或は見聞廣から
 を宣言せんと欲するものはすして不適當なる人物を選
 最初より確固不拔の精神を 擧するに至らば愛町の精神
 持し能く町政を理解し其不を滅却したるものと言はざ
 備の點あらば之を改善し町を有する一票は公明正大
 民の福利のために百萬の 人の有する一票は公明正大
 敵をも懼れず私利を斥け其何者にも侵さるゝことなく
 言語々徹頭徹尾正義に終始 愛町に燃ゆる大精神を持し
 せんの覺悟と意氣とを持し た有爲の大人物に投すべき
 て堂々として立候補したる ものではある

愈あこ三旬は迫つた

平町議の選挙戦

立候補者は四十名を

濱通り第一の激戦地と目せ一週開位前まで鳴を鎮め立
 らるゝ平町會議員の改選も 候補發表と同時に電光石火
 愈々来る三十日に迫つたが 的に一舉に敵の牙城に肉迫
 正式に名乗を擧げたものは 奇勝を博せんとする戦術
 一二名に過ぎず四月下旬 家もある然し大体は来る十
 り遅くも今月上旬までには 日遅くも十五日頃までには
 各町の詮衡も終る模様で 全部の顔振れは揃ふものと
 に出馬確定せし人も他の形 見られてゐる目下各方面の
 勢を觀望して正式の發表を 下馬評に上る人々は左の通
 見合せてゐる向もある又 最りであるが果して三萬町民
 後の五分間的に選挙當日の 興望を荷ふや否やは切に

町民諸君の冷靜なる判断に 待つ

猪狩彌作	川崎文治	阿部唯次郎	猪狩庄平
吉村安次郎	佐々木健一郎	三森虎雄	柏原幸次郎
馬目雅治	吉田寅之輔	柏原真吾	丹野榮三郎
大和田與平	柴田徳二	鷹崎貞術	比佐信太郎
柳下元吉	佐藤作平	吉田五平	渡邊貫一
石山治三郎	國府田直良	花澤兎五六	野崎滿藏
大森勇	萩原義雄	齊藤敏實	馬目雄次郎
武田文之助	諸橋國松	櫻井清	青沼鋒太郎
松崎菊三郎	平松武	志村要次郎	瀧澤俊平
星野清吉	馬目武之助	下馬評は左の通りであるが	
佐藤武之	多田井笑次郎	正式に立候補の場合には多少	
荒川淺次郎	志賀兵吉	の異動はあるものと見られ	
佐藤岩次郎	鈴木光吉	である	

平商工會組織

將來は商工會議所の前提

發起人會で會則制定

平町は年々人口の激増に伴を 開催し會則の制定及び役
 ひ數年後には市制施行を叫 員の詮衡を行つたが同會は
 ばれてゐる今日商工會議所 漸次内容の充實を計り將來
 に類した制度なきを非常 には商工會議所と革める方針
 遺憾とし今回同町の有力 家であるが同會の設立は平町
 諸橋守次、山崎清三、猪 狩の發展上有益且つ時期に満
 庄平の三氏外六名發起とな した計畫として同會の隆盛
 り平商工會を組織すること を一般より熱望せられてゐ
 となり去る十六日平信用組 合事務所内に於て發起人會

問題の新聞紙法

改正審議に入る

成案を得ば來議會に提出か

現行新聞紙並に出版法は時 勢の變遷に適合しなつもの と見られ當局もや
 代の進運、變遷に適當に 改正持餘し氣味である
 の聲は數年來の問題であつ たが内務省警保局は先に警
 保委員會に諮問し答申を得 たのでこれを立法化し先月
 來警保局議を開いて逐條的 縣は市町村又は市町村農會
 審議を始し其の決定を待つ ことに對し縣費補助を交付し産
 て再び警保委員會に諮問し 業技術員の設置を極力奨勵
 成案を一般に公表し輿論の してきたが其の補助年限が
 趨勢を見極めた上來議會へ 四ヶ年である處から各市町
 提否を決定する方針である 村では財政難を理由に補助
 行新聞紙法及出版法は多少 止するもの多く殊に昨年か
 改正の必要は痛感してゐる ら今年にかけて財界の不況
 現行法の如く弾力性のある 農作物の不作等が因をな
 立法は時代の變遷に適應 廢止の町村が續出し本年度
 すべく行政運用上自由裁量 は昨年度に比し四十名も其
 の餘地があるから強ひて改 定の數を減じてゐるので縣で
 止する要はないとの説が有 は、狼狽を極めこれが對策
 力である同法の改正は輿論 につき種々研究の結果前記

平から小名濱へ

自動車専用道路

總工費四十萬圓の見込

小名濱町小野平氏外十數に 一般乗客の便宜は此の上
 名の發起で鮮魚及一般物資 なく從來不便を感じてゐ
 輸送と乗客の便宜を目的と 平、小名濱間の交通に一大
 して平町を起點として飯野 改革が行はれるので各方
 鹿島、玉川の各村を貫通し により非常に期待されてゐ
 小名濱町に至る幅員四間の 自動車専用道路は日本には
 自動車専用道路は昨年未だ 未だ三四線にして東北方面
 小出英技師實測中の處過 では本線を以つて稿矢とす
 般終了圖面の調製も完成し べく右道路開設に要する總
 たので近く認可申請の手續 工費は約四十萬圓の見込
 を取ることになつたが、此 まで認可と同時に株式組織と
 の専用道路が開通する事に して着手する模様で目下鋭
 道二十分内外に短縮され鮮 魚の輸送は勿論、凡ての點

平町三丁目 家具漆器問屋 簞笥雜貨屋 丸ほん 電話三五九番	建築用金物 諸機械製造 平町三丁目 渡邊鐵工所 平新川町	鑛山工業用 諸器機 建築金物 製造販賣 平新川町 吉野鐵工所	平町櫻町 養鷄業 綠川忠太郎	内郷村 綴郵便局長 根本富彌	平町四丁目(停車場通角) マルトモ柴田書店 電話二三四番	平町二丁目 清水屋書店 電話一三一番	平町搔籠小路 香野利一
--	---	--	-----------------------------	-----------------------------	---	---------------------------------	-----------------------

石城郡内郷村小島 米穀商 遠藤末造 電話一一二番	高級自動車貸切 昭和タクシ 平驛前 澤正路	株式會社常磐銀行 平支店長 中村梅三郎	磐城炭礦株式會社附屬 古内鐵工所 所主 古内源喜 内郷村高坂	外科 花柳科 婦人科 產科 内科 光線科 入院隨意自炊の便あり 赤心堂病院 平町四番 田町七番 電話五七四番
--	------------------------------------	----------------------------------	--	--

平町紺屋町 旅料館 扇屋 電話一六五番	石城郡澤渡村 材木商 菅野源重	平町紺屋町 平町旅館業組合	平町古鍛冶町 青木精米所 電話四七四番	平町 好間軌道株式會社
-------------------------------------	------------------------------	------------------	----------------------------------	-----------------------

平町四丁目 海產物商 宍戸屋商店 電話一一五番	鑛山用諸機 製造販賣 山崎吉次 内郷村綴	平町五丁目 磐城建物株式會社	平古鍛冶町 青山易斷所 青山而象	平町紺屋町 材木商 柳下元吉
---	--------------------------------------	--------------------------	-------------------------------	-----------------------------

鑛山用諸機 電氣器具類商 田邊商店 電話七六一番	平古鍛冶町 石炭商 長瀬文造 電話七三一番	平町四丁目 組長 西川元一	平古鍛冶町 三三三	平町紺屋町 平町四丁目 磐城炭礦坑西川組
--	---------------------------------------	----------------------------	---------------------	-----------------------------------